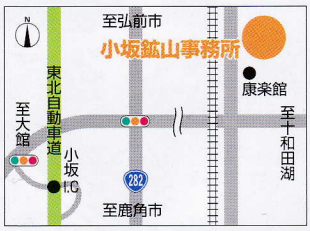
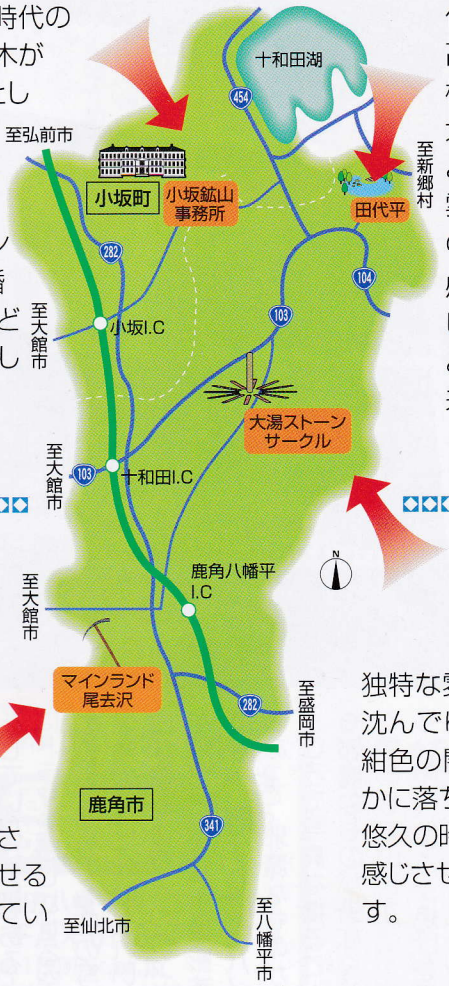
真っ白な外壁と幾多のガラス窓、印象的なバルコニーが特徴の旧小坂鉱山事務所。この明治時代の壮麗な建築物には初夏の青空とアカシア並木がよく似合います。小坂鉱山が日本一の銅山として栄えた在りし日の栄華は、忘却されて久しいですが、鹿角のやさしい青空と真っ白な外壁が織り成すコントラストは、あなたを明治時代へと誘うでしょう。こんなロケーションを背に、結婚式の撮影などはいかがでしょうか。

●アクセス
小坂I.Cから車で3分



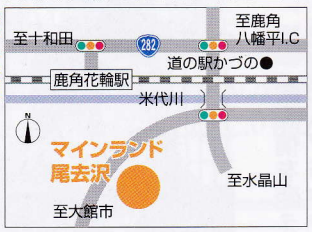
青森、岩手と秋田の県境に位置する田代平は、山奥に突如出現する大草原です。高原ゆえの短い夏、ゆっくりと回る十数機の風車を遠く望み、放牧牛が遊ぶ緑の大地に腰をおろすと、視界すら広がったような感覚を覚える如き開放感。流れる雲も手に届くような近さで、果てしない空の広がりと広大な大地の大パノラマを五感で感じることが出来ます。

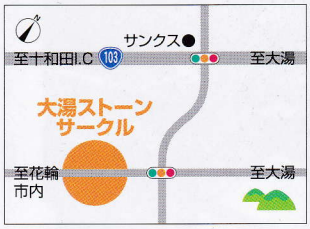
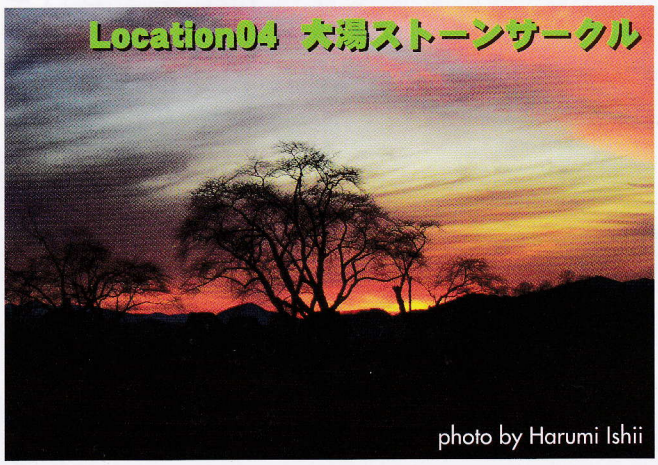
●アクセス
十和田I.Cから車で30分
十和田湖(休屋)から車で30分



1300年もの採掘の歴史をもつ尾去沢鉱山は、今その一部が観光坑道マインランド尾去沢として人気を博していますが、その裾野には日本最大級の巨大廃墟群が横たわっています。昔日の面影を色濃く残すレンガ造りの大煙突は、月明かりに照らし出されて妖しく光り、周囲の広大な廃墟群とともに、虚空のより桁違いな大きさを思い知らせる役目を担っています。

●アクセス
鹿角八幡平I.Cから車で10分



鹿角市北東部、大湯温泉郷に程近い台地上にある大湯環状列石、通称ストーンサークル。ここは縄文時代、祭祀に使われたといわれる円形の配石遺構が並ぶ、独特な雰囲気を持つ遺跡です。晩夏、西の山際に沈んでゆく真っ赤な夕日をバックに、急速に深い紺色の闇に溶け込んでゆく石の群れは、東から静かに落ちてくる星座もあいまって、そこはかとなく悠久の時の流れを感じさせてくれます。

●アクセス
十和田I.Cから車で10分